



「2015年被爆70年東京ー広島ー長崎 1500km反核平和マラソン」

及び各地の「反核・平和マラソン」へのメッセージ

「2015年被爆70年東京ー広島ー長崎 1500km反核平和マラソン」、及び各地の「反核・平和マラソン」を開催されるにあたり、日本非核宣言自治体協議会を代表してメッセージをお送りいたします。

このたびは、核兵器廃絶の実現に向けて、「スポーツは平和とともに」をスローガンに、東京から長崎まで、そして各地において核兵器廃絶と平和をアピールされるとのことで、参加者の皆様及び実施にあたりご尽力された皆様に心から敬意を表します。

日本非核宣言自治体協議会は、地域住民の安全を守り、世界恒久平和の実現に寄与することが自治体の責務であるという視点から、1984年に設立し、現在、全国311自治体が加盟し、この地球上から核兵器が廃絶する日まで核兵器廃絶と恒久平和の実現を世界の自治体に呼びかけています。被爆から70年が過ぎ、被爆・戦争体験の風化が懸念されるなか、原爆や戦争の恐ろしさ、平和の尊さを次世代に伝える取り組みはますます重要となっています。

マラソンにおいて、ランナーからランナーへタスキを受け渡し、チームワークでゴールを目指すように、本協議会も会員自治体どおしが連帯して活動し、国内外において、被爆地から全国へ、世界へ向けて、そして過去から未来へ粘り強くアピール活動を継承していかなければなりません。

マラソンのコース上には、多くの会員自治体や非核宣言自治体もありますが、会員自治体を代表して皆様の取組みを応援するとともに、核兵器廃絶につながることを心から願っております。ゴールの長崎市の平和公園を目指して、長い道のりとなりますが、「反核・平和マラソン」のご成功とランナーの皆様の無事故とご健闘をお祈り申し上げます。

平成27年6月17日

日本非核宣言自治体協議会

会長（長崎市長） 田上 富久

